

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第11号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年 3月 1日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 朝の大原中橋が変わってきました—朝のあいさつ運動について—

校長 中島 俊尚

イチロー選手のことばにはいつも注目しています。中でも「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道」は大好きなことばです。

昨年4月から始めた、大原中橋での朝のあいさつ運動は、私にとって「小さなことの積み重ね」のひとつかもしれません。それが今、まさに大きな、とんでもないところに向かって、少しずつですが、動き始めました。

2月初め、進路が決定した3年生に、「いっしょに朝のあいさつ運動をやろう!」と声をかけてみました。なんと7名も賛同してくれました。うれしかったです。さっそくその3年生といっしょに、朝の大原中橋で、あいさつ運動を行いました。ひとりでやっているときは全く違う、なんともいえない幸福感に浸ることができました。

1週間後、1年生から3年生までの自治委員があいさつ運動を応援してくれるようになりました。さらに先生方も立ってくれるようになりました。生徒もみんな笑顔で大原中橋を通っていきます。全校朝礼の際、登校時の安全について心を込めて話をしてくれた学校地域連携コーディネーターへのあいさつもとてもすばらしくなったそうです。さらにご近所の方から「最近よくあいさつするようになったね・・・」とうれしいことばもかけていただきました。朝の大原中橋でのあいさつ運動、これからも継続・発展していきますように期待しています。

2月の中旬、いっしょにあいさつ運動をしてくれている3年生を校長室に招き、彼らの思いを聞いてみました。ある生徒は元自治委員長として、実はあいさつ運動に心残りがあったそうです。昇降口付近で自治委員会が行ってきたあいさつ運動週間。その時は盛り上がるのだけれど、運動週間が終わるとまた元通り。何とかしたいと思っていたそうです。また、ある生徒は幼少のころから海外での暮らしを通して両親からあいさつの大切さをたたきこまれたそうです。「これからはコミュニケーションが大切、そのコミュニケーションの第一歩があいさつ、だからあいさつは本当に大事」と語ってくれました。外国で暮らした時のマンションの管理人さんの明るい笑顔と、気持ちのよいあいさつが今でも忘れられないと話してくれました。「大原中橋のところに立ってあいさつするのははずかしくない?」と質問したら、あいさつのことばをかけて、あいさつが返ってきたときの感動が忘れられない、またお世話になった中学校への恩返しに少しでもなれば・・・とも語ってくれました。3月15日、このようなすばらしい3年生が今年も大原中を



と語ってくれました。外国で暮らした時のマンションの管理人さんの明るい笑顔と、気持ちのよいあいさつが今でも忘れられないと話してくれました。「大原中橋のところに立ってあいさつするのははずかしくない?」と質問したら、あいさつのことばをかけて、あいさつが返ってきたときの感動が忘れられない、またお世話になった中学校への恩返しに少しでもなれば・・・とも語ってくれました。3月15日、このようなすばらしい3年生が今年も大原中を

平成28年度も最終号となりました。地域・保護者のみなさまの温かなご理解・ご支援に心から感謝申し上げます。平成29年度も「はつらつとした学校 地域に輝く学校」を目指し、教職員一丸となって努力してまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

追伸 保護者のみなさま、生徒会誌「あゆみ」第65号に「大原中橋」という題で原稿を書きました。まもなく発行となります。こちらもぜひお読みください。